



千代田区立昌平幼稚園

園長 浅岡 寿郎  
副園長 大川 美紀子  
PTA会長 岡部 悠香梨

所在地 〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-4-7  
電話 03(3251)0768  
FAX 03(3251)5468  
ホームページ <https://onl.bz/A4ShEEc>  
最寄り駅 JR線 秋葉原、御茶ノ水  
地下鉄 末広町、湯島、御茶ノ水、小川町  
淡路町、新御茶ノ水



## I 教育の概要

## 1 学校・地域の特徴

本園は秋葉原の商業地域に位置し、地域行事の盛んな土地柄である。また、昌平童夢館という複合施設の中にあり、小学生や未就園児など、施設を活用する様々な人と触れ合う機会が多い。平成24年度から、全園児が受ける「幼稚園教育要領」に基づく教育課程内の短時間保育と教育課程外の長時間保育を実施する千代田区幼保一体園となった。園内は幼児の活動の広がりに応じて、4・5歳児保育室とホールを一体化して使うことのできる可動式の壁や、様々な生き物が息する自然環境を整えた園庭を備え、幼児の望ましい活動を促す施設環境となっている。また、保護者や地域の人々は幼稚園に対して極めて協力的であり、保護者同士の関わりも多い。

## 2 教育目標

## (1) 園の教育目標

生命尊重と人権尊重の精神を基に、心豊かで主体的に生活し、知・徳・体のバランスのとれた、たくましい幼児の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

- 自分で考える子 (いろいろなことに興味をもち、自分なりに考えて取り組む子)
- 仲よく遊ぶ子 (自分や友達を大事にし、互いのよさや考えを受け入れ合いながら仲よく遊ぶ子)
- ◎ 明るく元気な子 (明るく伸び伸びと自分の力を発揮する元気な子)

## (2) 園の教育目標を達成するための基本方針

幼児が身近な環境に関わり、多様な体験を通して豊かな学びが得られるようにする。

「千代田区共育ビジョン」の「共生」の理念のもと、小学校や保護者、地域・関係諸機関等のすべての教育力を活用した“チーム昌平”を合い言葉に、地域に開かれた教育活動を展開する。

◎ 命の尊さを実感し、相手を思いやる心を育むために、全教育活動を通して人権尊重の理念を学んでいくことができるような保育指導を進める。

(協同性、道徳性・規範意識の芽生え、社会生活との関わり、思考力の芽生え、自然との関わり・生命尊重)

○ 幼児の好奇心や探究心の芽生えを育むために、直接体験を通して幼児が自由に試したり、操作したりすることができる環境の構成を工夫する。

(思考力の芽生え、自然との関わり・生命尊重、数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚)

○ 資源や自然を大切にす心情や態度を育むために、千代田エコシステムの指導目標を踏まえ、節電・節水、リサイクル、栽培などの活動に取り組む。また、地球のためにできることを考える力が養われるように、国際教育、SDGs、環境教育を推進する。

(社会生活との関わり、思考力の芽生え、自然との関わり・生命尊重、豊かな感性と表現)

◎ 自分の思いを伸び伸びと表し、充実感を味わうことができるように、保育者との信頼関係を基盤に情緒の安定を図る。(自立心)

○ 人への信頼感を育むために、遊びや生活の中で様々な感情を味わったり、保育者や友達と共感的につながる喜びを感じたりする機会を大切にし、思いやりの気持ちや社会性、道徳性・規範意識の芽生えを培う。

(協同性、道徳性・規範意識の芽生え、社会生活との関わり、言葉による伝え合い)

◎ 主体的に遊びや生活を創り出す意欲や態度を高めるために、自分の思いや考えで環境に働き掛ける楽しさや充実感を味わえるような活動の展開を工夫する。(健康な心と体、自立心、豊かな感性と表現)

◎ 新しいことに挑戦する意欲や諦めずに最後までやり遂げようとする態度を育むために、体を動かす遊びや初めて出会う遊び・活動などを通して多様な体験を重ね、幼児が自己発揮し充実感を味わうことができるようにする。(健康な心と体、自立心)

◎ 健やかな幼児の育成を目指し、年齢や実態に即した生活習慣の自立を促す。(健康な心と体、自立心)

○ 乳幼児期から児童期にかけての育ちの連続性や幼児が発達していく方向を意識した保育を展開することができるように、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた指導を工夫する。

○ 幼児教育から小学校教育への滑らかな接続を図るために、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点として小学校教職員と協議する機会を設けたり、昌平小学校の「スタートカリキュラム」などを参考にしたりして、互いの保育・教育について理解を深め、連携を図る。

## 令和5年度

- 多様性の尊重と個に応じた指導を行えるように、巡回アドバイザーやスクールカウンセラー、関係諸機関、保護者と連携するとともに、必要に応じて都立特別支援学校のセンター的機能を活用しながら、会計年度任用職員などを含めた教職員全員で情報と指導方針の共有を図る。また、特別な支援を継続的に必要とする幼児のよりよい成長を促すために、園内委員会を組織し、教育支援シートを作成し、組織的に支援を行う。
- 幼児の実態や地域のニーズに寄り添った教育活動を推進するために、自己評価・学校関係者評価を通じたPDCAサイクルにより、常に教育課程の充実と改善を図る。

### 3 指導の重点

#### (1) 教育課程の編成、実施にかかわる指導の重点

各学年の発達に即した指導が行えるよう、次のように重点をおく。

- 【3歳児】保育者との信頼関係を基盤に、好きな遊びを十分に楽しんだり、生活に必要なことを身に付けたりして、安心して伸び伸びと生活する。
- 【4歳児】興味や関心をもったことに進んで関わり、自分の思いや考えを十分に表したり、友達の思いや考えに関心を寄せたりしながら、したい遊びに取り組み、充実感を味わう。
- 【5歳児】自分の目的や共通の課題に向けて、一人一人が自分の力を発揮し、互いのよさに気付いて認め合ったり友達の考えを取り入れたりして遊びや活動に取り組み、達成感や満足感を味わう。

- ◎ 幼児が主体的に遊びや生活に取り組めるように、個々の発達や年齢、興味や関心に応じた適切な環境を構成し、3年間を見通した教育を意図的・計画的に行う。(健康、人間関係、環境、言葉、表現)
- ◎ 幼児が主体的に生活や遊びに取り組み、自己を発揮していくために、幼児の興味や発想を引き出したり、幼児が安心して伸び伸びと自己を表現できるように支えたりする。(健康、人間関係、環境)
- 身近な自然への好奇心や探究心を育むために、稲作、野菜や花の栽培、園庭の植物の生長や変化に気付かせる体験などを計画的に取り入れる。(環境、表現)
- 自然の美しさや生命の尊さに気付き、大切にすることを育むために、講師を招いて土作りや花の苗植えを学ぶ、野菜を栽培し収穫を喜ぶ、生き物を自分たちで責任をもって飼育するなどの直接体験や感動体験を大切にする。(環境、表現)
- 友達と共に生活することを楽しむ心情や態度を育むために、保育者との信頼関係を基盤に、自分の思いや考えを言葉で表し相手に伝わる嬉しさを感じたり、相手の話を聞いて自分とは異なる友達の思いや考えに気付いたりする経験を大切にする。(人間関係、言葉、表現)
- 身近な人と関わる中で自分のことも相手のことも大切にすることを育むように、一緒に活動することを通して、共に過ごすことの心地よさを感じたり、葛藤やつまづきを体験しながらも楽しさを味わったりできるようにする。(人間関係、言葉)
- 人との関わりを豊かにし、親しみや思いやりの気持ちを育むために、異年齢交流や小学校との交流活動を計画的に実施する。異年齢交流では、少人数園のよさを生かしながら、ホールや園庭での日常的な交流の機会を生かした保育を展開する。小学校との交流活動においては、感染症対策を踏まえた上で、実際に触れ合いをもつ交流に限らずICTを活用した交流や行事の見学など方法を工夫する。(人間関係、言葉、表現)
- 豊かな言葉や表現に触れ、友達や保育者との伝え合いを楽しむようになっていくために、年齢や発達、幼児の興味・関心、季節、行事などに応じて、絵本や紙芝居、物語などの読み聞かせを取り入れ、保育者自身が豊かな表現を伝えるモデルとしての役割を果たす。(人間関係、環境、言語、表現)
- ◎ 幼児が自らの体の動かし方に気付いたり、自らの健康に関心をもったりできるように、コーディネーショントレーニングの指導支援団体による取組、外部講師による体操遊びのほか、日常的に体を思い切り動かして遊ぶ心地よさや楽しさを味わえるような遊びを取り入れ、身体諸機能の発達を促し、自らの健康を保持増進する態度を養う。(健康)
- ◎ 幼児が安全についての構えを身に付け、自分で考え判断し行動することができるようになっていくために、生活・交通・災害の安全教育を計画的に推進する。また、発達段階に応じて、命を大切にすることを自分や相手を尊重する態度を身に付けていけるように、日常の保育の中で指導を重ねるとともに、文部科学省の示す「生命の安全教育教材(幼児)」の活用を図る。(健康、人間関係、環境)
- ◎ 幼児が食べることに意欲をもち、自らの健康への関心を高めていくために、年齢・発達に応じて、日常的な食に関する指導、栄養士による食育指導、野菜の栽培、収穫物の調理などを実施する。(健康、環境)
- 日本の伝統文化や自分の住んでいる地域について知り、愛着をもち、日本人としての自覚と誇りを醸成するために、特色ある教育活動の一環として神田明神将門太鼓の活動を取り入れ、実際に太鼓に触れて楽しんだり、地域の方や友達と協同して取り組む楽しさを味わったりできるようにする。なお、本活動については、東京都教育委員会が示す「学校2020レガシー」として位置付ける。(人間関係、環境)

## 令和5年度

### (2) 環境の構成

- ◎ 主体的に遊びや生活を展開し、自己を発揮したり、協同的な遊びを進めたりすることができるように、経験させたい内容に応じてホールや本園の特色である土の園庭、隣接する芳林公園などを効果的に活用する。
- 健康で安全な園生活を送ることができるように、3密の回避、正しい手洗い・うがい・手指消毒、咳エチケットなどの感染対策の徹底を図る。保育室は常時換気を基本とし、遊具・椅子などの消毒を随時行う。
- 幼児が身近な環境に興味・関心をもち、好奇心や探求心を高めていくために、機会を捉えて、園庭の自然や身近な自然事象に触れることができるような活動を取り入れる。また、幼児が園庭の自然に意識を向けたり、身近な草花を遊びに取り入れたりとすることができるように、自然の年間指導計画に沿って園庭環境の充実を図る。
- 知りたいことを調べ、体験を豊かにしていくために、発達や時期に応じて図鑑や絵本、ICTを保育に活用する。ICTに関しては、幼児の直接体験の補完となるように、教職員間で活用方法や活用例を共有しながら、教育活動に取り入れる。
- 年下の幼児への思いやりや責任感を培ったり、年上の幼児の行動への憧れを抱き自分もやってみようとする意欲をもったりすることができるように、朝の体操タイムや入園当初の年長児と年少児の交流、行事を通じた年中児・年長児合同の活動など、年間を通じて異年齢の幼児と触れ合い、親しみをもっていけるような機会を設ける。
- ◎ 日々の遊びや生活の中で、幼児が体を動かす心地よさや楽しさを感じたり、多様な動きを経験したりできるように、外部講師によるコーディネーショントレーニング及び体操遊びに加えて、毎月“チャレンジデー”（運動遊び推進日）を設定する。“チャレンジデー”では、外部講師による活動との関連を考慮しながら幼児の興味や実態に合わせた環境を幼児と一緒につくったり、長時間保育の時間帯や“チャレンジデー”以降の保育でも継続して取り組めるような工夫をしたりして、その効果を高められるようにする。

### (3) その他

- 幼児の健康で安全な生活を保障するために、感染症予防対策として毎日の検温や健康観察の実施、消毒液の設置などを行い、家庭と連携しながら健康管理に努める。
- 地域全体で幼児の安全を守るという意識を高めていくために、家庭や地域の方々と連携・協力し、挨拶の日常化、登降園時の腕章の携帯、玄関の施錠とモニター対応、防犯カメラの設置などを通して、安全管理を徹底する。
- 基本的な生活習慣の自立と情緒の安定のために、園だより、学年だより、ばくばく通信などで様子を伝えるとともに、家庭に理解と協力を求めて連携を図りながら、年齢や実態に即した指導を工夫する。
- ◎ 幼児の体力や運動能力を育むために、園庭、ホール、芳林公園、小学校の屋上校庭や体育館などを活用した体を動かす遊び、外部講師による活動を計画的に取り入れる。
- 保護者が園の教育について関心をもち理解を深めたり、幼児の育ちを教職員と共有したりすることで、幼児を共に育てるという意識を高めていけるように、内容や方法を工夫しながら保護者会や学級懇談会、個人面談を実施したり、掲示やホームページを通して園の様子が伝わるように情報を発信したりする。
- 災害への構えや安全に対する意識を高めるために、万世橋警察署や神田消防署と連携し、様々な保育時間帯や場面を想定した安全指導や避難訓練を行う。
- 自分たちがお世話になっている給食調理や館内の方々、地域の方々に感謝の気持ちが高まるように、どのような仕事をしてくださっているのかを知らせたり、発達段階に応じて感謝の気持ちを伝える活動を工夫して取り入れたりする。
- 長時間保育では、長い時間、幼稚園で生活する幼児の心身への負担を軽減し、無理なく過ごせるように、長時間保育年間指導計画に基づき、一日の流れの連続性を考慮した保育内容や環境を工夫する。幼児が安定した気持ちで生活できるように、短時間保育担当者との情報交換や、保育時間・日数に関する保護者との連携を密にする。
- 預かり保育では、保護者のニーズに応じた保育時間の中で、子どもたちが安定した気持ちで過ごせるように、環境を工夫する。また、短時間保育担当者と連携を図り、情報を共有し保育の充実を図る。
- 地域に開かれた子育て支援として、感染症対策を講じた上で、園の教育力を活かしながら、昌平保育園や地域の未就園児を行事に招くなどの取組を実施する。子育て支援事業の「たまごクラブ」では未就園児保護者の希望に応じて保育者が相談に応じたり、保護者同士で子育てについて気軽に話せる場を提供したりする。
- 令和5年度に昌平小学校・幼稚園が創立30周年を迎えることを機に、自分の通う園や自分の住む地域に愛着をもち、自分たちを見守り支えてくださる保護者や地域の方々への感謝や親しみの気持ちを高めていけるように、園の歩んできた歴史を幼児に伝えたり、小学校と合同で記念誌作成や式典準備を進めたりする。
- 令和5年度研究主題（仮）

「自分のしたいことに向かって伸び伸びと取り組み、体を動かすことを楽しむ幼児の育成

～幼児の興味や欲求に寄り添い、満足感を高める環境や援助の工夫～

短時間保育担当者と、長時間保育担当者が合同で園内研究を行う機会を設け、園全体で幼児の生活や遊びの連続性を考慮した環境設定や、保育者の援助について学び、保育の充実と教職員の資質向上を図る。また、小学校と合同の研究會を設け、幼児期から児童期にかけての発達の連続性を考慮した研究を推進する。

令和5年度

4 一日の時間

学年	教育活動	備考
3歳児	8:50~13:30 ※4~5月中旬は慣らし保育を実施	土曜登園日【全園児対象】 年間3回(5・11・2月) 8:50~11:30 預かり保育【短時間保育児対象】 月~金 教育活動終了~16:30 長時間保育【長時間保育児対象】 月~金 7:30~18:30
4歳児	8:50~13:35	土曜保育【別途申請している長時間保育児対象】 土曜日 7:30~18:30
5歳児	8:50~13:40	延長保育【別途延長保育申請をしている長時間保育児対象】 月~土 18:30~19:30

5 年間行事計画

4月	春季休業日(終)、始業式、入園式、定期健康診断(始) すぐーる配信訓練、保護者会、学級懇談会 ひよこ組を迎える会(新入園児歓迎会)、離任式	10月	がんばれ昌平キッズ(運動会)、稲刈り(5歳児) 芋掘り遠足、秋季歯科検診 トライ&チャレンジ(栽培活動)、プール納め
5月	こどもの日の集い、トライ&チャレンジ(栽培活動) 遠足(4・5歳児)、田植え(5歳児) 子育て・親育ち講演会引き取り訓練 親子なかよしデー(5歳児) コーディネーショントレーニング(4・5歳児)	11月	千代田区一斉清掃、焼き芋、合同子ども会(5歳児) コーディネーショントレーニング(4・5歳児) 個人面談(5歳児)、作品展、収穫祭、ハッピー鑑賞会 開校・開園30周年記念式典、就園時健康診断
6月	171訓練、よい歯の表彰式、プール開き コーディネーショントレーニング(4・5歳児) 千代田区一斉清掃、親子なかよしデー(4歳児) 遠足(4・5歳児)、親子なかよしデー(3歳児) 学級懇談会(3歳児)、個人面談(始) 定期健康診断(終)	12月	171訓練、昌平キッズシアター(こども会) お楽しみ会、終業式、冬季休業日(始) 冬季長時間保育(始)、冬季預かり保育(始)
7月	七夕の集い、個人面談(終)、終業式 夏季休業日(始) 夏季長時間保育(始)、夏季預かり保育(始)	1月	冬季休業日(終) 冬季長時間保育(終)、冬季預かり保育(終) 始業式、鏡開き、昔遊び コーディネーショントレーニング、遠足 保育参観、学級懇談会(4歳児)、千代田区連合作品展
8月	夏季長時間保育(終)、夏季預かり保育(終) 夏季休業日(終)	2月	節分の集い、保護者会、学級懇談会 個人面談(3・4歳児)、新入園児保護者会、体験入園 遠足
9月	始業式、お月見の集い、こども祭り 保育参観、学級懇談会(5歳児)、給食試食会(5歳児) 入園希望者園公開・説明会、遠足(3歳児) お月見の集い	3月	ひな祭りの集い、お別れ会、修了式、終業式 春季休業日(始) 春季長時間保育(始)、春季預かり保育(始)

- ◇ 毎月の行事 ・避難訓練 ・安全指導 ・誕生会 ・図書館司書によるお話の会 ・発育測定  
・栄養士による食育指導 ・外部講師と連携した体操遊び  
・外部講師による太鼓活動(5歳児) ・チャレンジデー(運動遊び推進日)  
・昌平タイム(望ましい生活習慣を身に付けるための指導日)

- ◇ その他 ・国際教育(年間6回)  
・小学校や保育園との合同行事及び交流活動  
昌平小学校の児童との交流活動、昌平保育園の園児との季節行事等における交流、  
小学校・児童館・保育園等と合同の避難訓練や防犯訓練 など

II 現況

1 園舎施設・規模一覧(平成28年10月1日現在)

現園舎	起工 平成6年8月 竣工 平成8年8月30日	保育室	保育室(3) 3歳ひよこ組 63㎡ 4歳うさぎ組 68㎡ 5歳きりん組 68㎡
園舎構造	鉄骨鉄筋コンクリート造り		遊戯室(1) 126㎡ 長時間保育室(1) にじのへや 68.91㎡
園舎面積	総延面積 835.34㎡	職員室	63㎡
あそび場	園庭 400㎡	園長室	14㎡

園舎面積は施設台帳による。

2 組編成(令和5年4月1日現在)

年齢	組名	短時間保育児	長時間保育児	計
3歳児	ひよこ	7名	9名	16名
4歳児	うさぎ	4名	10名	14名
5歳児	きりん	7名	8名	15名
合計	—	18名	27名	45名

3 所在地



●最寄駅

JR線	秋葉原駅	電気街口（西口）より徒歩7分
	御茶ノ水駅	聖橋口より徒歩10分
地下鉄	千代田線	新御茶ノ水駅 聖橋口より徒歩10分
	銀座線	末広町駅 3番出口より徒歩5分
	千代田線	湯島駅 徒歩8分

## 令和5年度

### Ⅲ 沿革の概要

昭 6. 9. 5	淡路小学校の一部に設けられ東京市淡路幼稚園と称する	昭 6. 9. 1	東京市芳林尋常小学校に設置、学齡未満幼児の保育をする 2学級編成
昭 18. 7. 1	都制実施により園名を東京都淡路幼稚園と変更	昭 16. 12. 5	創立 10 周年記念式典挙行
昭 19. 4. 20	戦時非常措置により休園	昭 19. 5. 31	戦時非常措置令により休園
昭 21. 4. 1	再開園（2学級編成）	昭 22. 4. 8	再開園する3学級編成 園章制定
昭 22. 4. 1	東京都千代田区立淡路幼稚園と園名を変更	昭 27. 4. 10	園児増のため1学級増設
昭 26. 3. 10	東京都から実験幼稚園として公開発表実施	昭 28. 10. 1	創立 20 周年記念式典挙行
昭 27. 4. 1	入園希望者多数のため2学級を3学級編成	昭 32. 4. 11	園児減少により3学級編成
昭 33. 12. 5	東京都研究協力校として公開発表実施	昭 34. 2. 12	東京都公立幼稚園教育会主催による公開保育実施
昭 37. 1. 15	園旗及び園歌制定	昭 36. 10. 1	創立 30 周年記念式典挙行
昭 37. 1. 27	創立 30 周年記念式典挙行	昭 36. 10. 1	園旗を制定
昭 38. 4. 1	三年保育幼児多数のため3学級編成	昭 38. 9. 1	教育課程作成
昭 44. 6. 5	区内幼稚園対象の公開保育実施	昭 39. 2. 6	芳林小学校と共催で社会の領域を研究発表
昭 45. 4. 10	園児 65 名（3学級編成）	昭 41. 4. 1	1学級増、4学級編成
昭 46. 12. 10	開園 40 周年記念式典挙行	昭 41. 9. 1	園歌制定
昭 49. 10. 24	区内幼稚園対象の公開保育実施	昭 42. 5. 20	学校安全会より交通安全指導の研究協力校を委嘱
昭 52. 10. 28	区内幼稚園対象の公開保育実施	昭 43. 11. 14	東京都教育委員会並びに学校安全会より健康 安全優良校として表彰を受ける
昭 56. 10. 23	開園 50 周年記念式典挙行	昭 45. 4. 1	1学級増、5学級編成
昭 58. 11. 25	区内幼稚園対象の公開保育実施	昭 46. 11. 11	創立 40 周年記念式典挙行
昭 60. 4. 1	佐久間幼稚園と二園での保育活動はじまる	昭 51. 4. 1	1学級増、6学級編成
昭 62. 7. 18	佐久間幼稚園落成につき移転	昭 56. 11. 7	創立 50 周年記念式典挙行
昭 63. 7. 6	区内幼稚園対象の公開保育実施	昭 58. 4. 1	1学級減、5学級編成
昭 63. 11. 29	東京都健全育成事例研究発表	昭 59. 4. 1	1学級減、4学級編成
平 1. 4. 1	千代田区研究協力園（第1年次）「幼稚園の実態に即した3年保育の教育課程の編成と実践」	昭 60. 4. 1	1学級減、3学級編成
平 2. 10. 5	千代田区研究協力園研究発表「幼稚園の実態に即した3年保育の教育課程の編成と実践」	昭 61. 6. 23	公開保育「自ら遊びに取り組む幼児を育てる」（表現）
平 3. 10. 19	創立 60 周年記念式典挙行	昭 62. 6. 24	公開保育「自ら遊びに取り組む幼児を育てる—発達段階に即した指導—
平 4. 4. 1	3歳児、4歳児複式学級となる	平 3. 11. 9	創立 60 周年記念式典挙行
		平 4. 2. 28	文部省調査研究校、区協力園「社会の変化に対応した新しい学校運営に関する調査研究」研究発表
平 5. 4. 1	学校設置条例の改正に伴い、東京都千代田区立昌平幼稚園となる。		
平 5. 11. 21	園章・園旗を制定し、開園記念日とする		
平 5. 11. 21	園章・園旗制定記念学芸会開催		
平 6. 2. 1	園歌制定		
平 7. 7. 4	児童・生徒健全育成推進協議会で事例を発表。		
平 7. 11. 2	千代田区保育研究会「豊かな心をもち、進んで生活する幼児の育成を目指して」公開保育並びに研究協議会		
平 8. 9. 28	新園舎落成式		
平 8. 9. 30	新園舎保育開始		
平 9. 4. 1	専任園長就任		
平 12. 12. 8	千代田区教育委員会研究協力園研究発表「こころが躍る！からだが弾む！」—幼児の発見・発想を支える教師の指導—		
平 15. 4. 1	兼任園長就任		
平 15. 7. 2	千代田区保育研究会「心が躍る！からだが弾む！」—様々な体の動きを引出す環境の工夫—		
平 15. 11. 20	開園 10 周年を祝う会挙行		
平 16. 4. 1	学校活性化支援事業「ビオトープを造ろう！自然と共存する夢の幼稚園」 稲作開始		
平 16. 8. 24	ISO14001 認証取得		
平 17. 12. 19	「ソニー教育支援プログラム」努力園受賞		
平 18. 10. 31	千代田区教育委員会研究協力園研究発表「豊かな学びを促す指導の在り方」—小さな自然の生かし方—		
平 19. 2. 10	「全国学校ビオトープコンクール2007」銀賞受賞		
平 22. 6. 30	C E S 取得		
平 24. 4. 1	千代田区で初めての幼保一体施設の区立幼稚園として3歳児のみ長時間保育を実施		
平 25. 4. 1	幼保一体施設の区立幼稚園として長時間保育課程を全学年に実施		
平 25. 11. 23	開園 20 周年記念式典、祝賀会挙行		
平 27. 12. 04	千代田区教育委員会研究協力園研究発表		